

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)



特別管理産業廃棄物処理計画書

平成29年 4月/8日

滋賀県知事 殿

提出者

住所 滋賀県野洲市市三宅641-1

氏名 京セラディスプレイ株式会社

代表取締役社長 池内 雅文

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

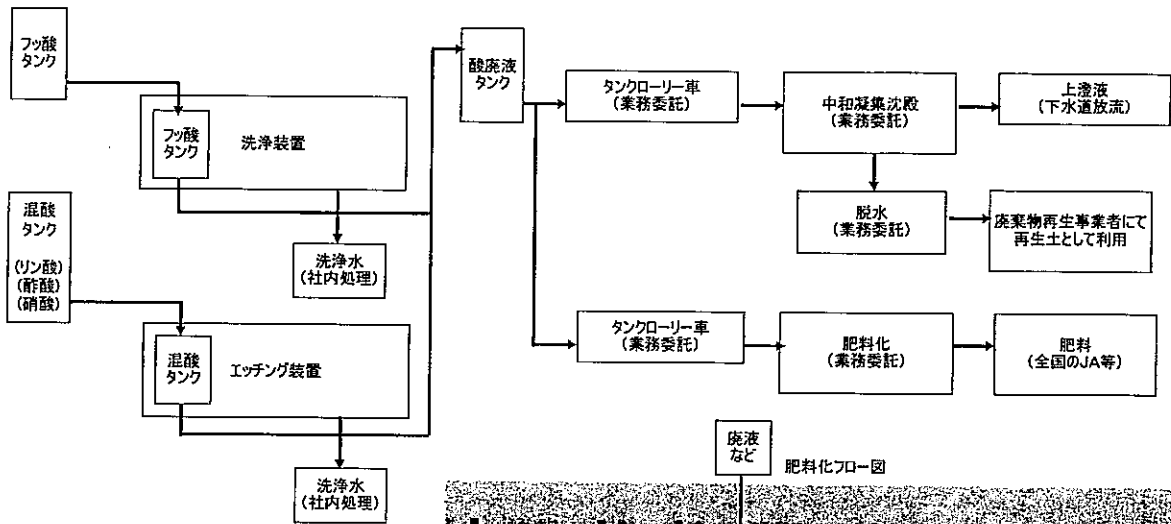
電話番号 077-518-2326

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

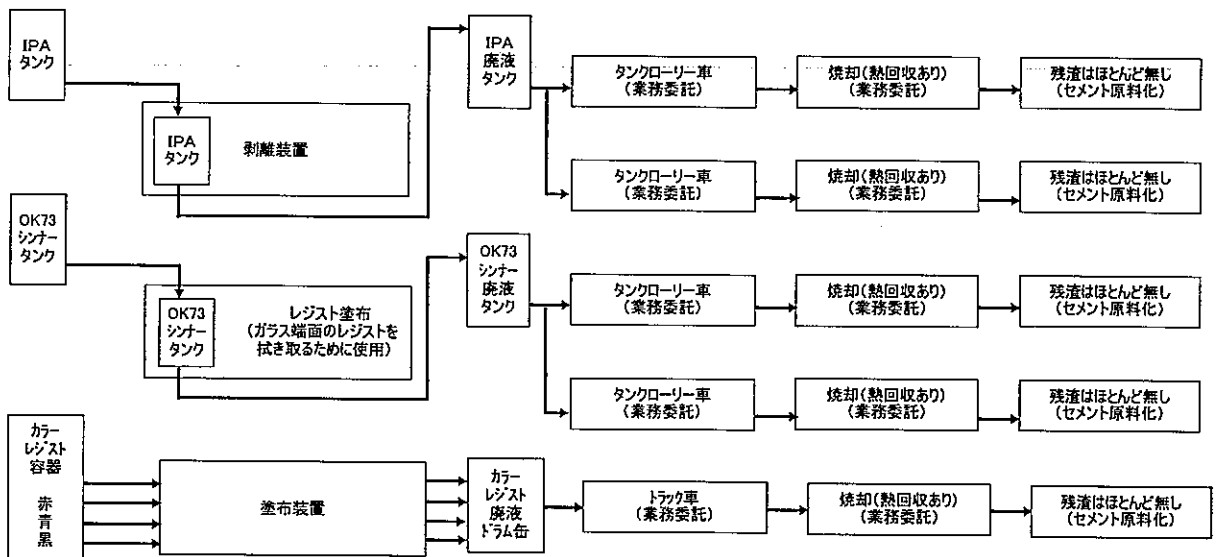
事業場の名称	京セラディスプレイ株式会社 滋賀野洲工場
事業場の所在地	滋賀県野洲市市三宅641-1
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電気機械器具製造業
②事業の規模	総生産額：約57億円(平成28年度)
③従業員数	570名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

別紙1 ④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

特管廃酸



特管廃油



(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照

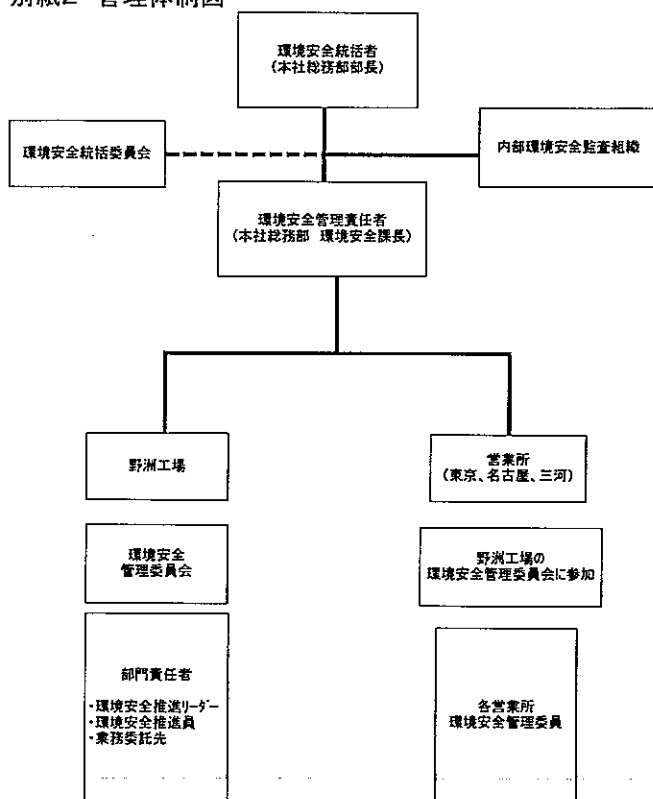
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃油
	排出量	320.200 t	212.823 t
	(これまでに実施した取組) 廃酸：混酸（リン酸、酢酸、硝酸）の各成分を自動分析し、足りなくなった各酸成分を補充し、ライフ延長を実施した。また、混酸（リン酸、酢酸、硝酸）の原液（濃度70%以上）の有価物化を実施した。（平成27年活動） 廃油：OK73シンナー廃液、カーレジスト廃液の有価物化を実施した（平成25年活動）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃油
	排出量	400 t	250 t
	(今後実施する予定の取組) 廃酸・廃油：生産量増に伴い廃液量が増加するため削減活動を行う。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油（OK73シンナー廃液、カーレジスト廃液）の有価物化を実施した。 廃酸（混酸）の有価物化を実施した。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新たな有価物化を検討する。

別紙2 管理体制図



環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理に関する検討 ○廃棄物発生抑制、再利用、投資検討等の廃棄物管理運営を行い、必要な事項を検討決定する。 ・委員長——部門責任者 ・委員——環境安全推進リーダー、同推進員 ・事務局——総務部 環境安全課
廃棄物処理統括責任者 (環境安全課長)	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理方針の作成 ○廃棄物関連文書の発行、改廃
廃棄物処理管理責任者 (環境安全課 施設係長)	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画作成 ○廃棄物管理状況把握、改善策の検討 ○処理、収集運搬会社の選定、視察等の管理 ○委託契約締結 ○産業廃棄物、特別産業廃棄物管理票の交付、管理 ○監督官庁への各種報告 ○教育・啓発活動 ○その他事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃油
	全処理委託量	320.220 t	212.823 t
	優良認定処理業者への処理委託量	320.200 t	212.823 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	212.823 t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・廃油の一部であるOK73シンナー廃液、カーレジスト廃液の有価物化 ・廃酸中の混酸廃液の有価物化 			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃油
	全処理委託量	400 t	250 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	400 t	250 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	250 t
(今後実施する予定の取組)			
廃酸・廃油：生産量増に伴い廃液量が増加するため削減活動を行う。			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 現状と計画	廃酸		廃油		現状 (前年度実績)	計画 (目標)
	現状 (前年度実績)	計画 (目標)	現状 (前年度実績)	計画 (目標)		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
排出量	320.2 t	400.0 t	212.8 t	250.0 t		
これまでに実施した取組	廃酸：混酸(リン酸、酢酸、硝酸)の各成分を自動分析し、足りなくなった各酸成分を補充し、ライフ延長を実施した。また、混酸(リン酸、酢酸、硝酸)の原液(濃度70%以上)の有価物化を実施した。(平成27,28年活動) 廃油：OK73シンナー廃液、カーレジスト廃液の有価物化を実施した(平成25年活動)					
今後実施する予定の取組	生産量増に伴い廃液量が増加するため削減活動を行う。					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t		
これまでに実施した取組	-					
今後実施する予定の取組	-					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t		
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t		
これまでに実施した取組	-					
今後実施する予定の取組	-					
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t		
これまでに実施した取組	-					
今後実施する予定の取組	-					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
全処理委託量	320.2 t	400.0 t	212.8 t	250.0 t		
優良認定処理業者への処理委託量	320.2 t	400.0 t	212.8 t	250.0 t		
再生利用業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t		
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	212.8 t	250.0 t		
これまでに実施した取組	・廃油の一部であるOK73シンナー廃液、カーレジスト廃液の有価物化 ・廃酸：中和凝集沈殿後の脱水汚泥をフェニックス埋立から再生土化を行った。					
今後実施する予定の取組	生産量増に伴い廃液量が増加するため削減活動を行う。					